

全国版救急受診アプリ

# Q助

きゅーすけ



## 症状の緊急度を素早く判定!!! 救急車を呼ぶ目安に!!!

消防庁では、住民の緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するため、緊急度判定プロトコルver.2（家庭自己判断）をもとに全国版救急受診アプリ「Q助 きゅーすけ」を作成しました。

スマートフォン用アプリ



総務省消防庁「Q助」案内サイト

[https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9\\_6/kyukyu\\_app.html](https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html)



総務省消防庁

## ご利用方法

全国版救急受診アプリ

急な病気やけがをしたとき、該当する症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応（「いますぐ救急車を呼びましょう」、「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」、「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」又は「引き続き、注意して様子をみてください」）が表示されます。

その後、119番通報、医療機関の検索（厚生労働省の「医療情報ネット」にリンク）や、受診手段の検索（一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会の「全国タクシーガイド」にリンク）を行うことができます。



1 緊急度の高い  
症状選択

2 年代選択

3 症状選択  
該当する症状を画面上で選  
択します。

4 結果画面  
緊急度に応じた必要な対応が表示されます。  
「いますぐ救急車を呼びましょう」  
「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」  
「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」  
「引き続き、注意して様子をみてください」

## 【編集後記】「ぼうさいこくたい」

「大規模災害に備える～みんなの連携が力になる防災～」をテーマに防災推進国民大会 2017（ぼうさいこくたい）が11月26・27日、宮城県仙台市で世界防災フォーラム等と同時開催された。昨年の東京大学本郷キャンパスに続き2回目で、仙台国際センターの幾つもの会場で講演、パネルディスカッション、ワークショップ、展示会等、大変盛り沢山の内容で開催され、2日間で約1万人の来場者があったとのこと。

私も幾つかの企画に参加させていただいたが、同時並行的にいろいろな企画が催されていたので見逃した企画も多い。様々な素晴らしい企画の成果をその会場の参加者で共有するだけではもったいない。次号で「ぼうさいこくたい」の概要を紹介することになっているが、紙面に限りがあり全てを載せることはできない。一部ストーリーミング配信などもあったようだが、様々な企画の成果を何らかの形で全国の方々にフィードバックしていただければ大変素晴らしいことと思う。「ぼうさいこくたい」の更なる進化を期待したい。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2017年12月号（通巻17号）

■発行日 平成29年12月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 西藤 公司

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16（日本消防会館内）

TEL 03 (3591) 7123 FAX 03 (3591) 7130

URL <http://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社